

# この先ずっと、好きな人とだけ一緒にいられるのか

保健室では一年中、学校に来たくない・・・という人の話を聞いています。

そもそも高校は義務教育ではないので、学校に来たい人だけが来ているはずですが、自分が思っていた高校生活と違っていたり、自分の思いどおりにならないことが多かったり、恋人と別れたり、友だちとトラブルになったり、先生に叱られたり、勉強が難しかったりすると、学校に来たくない、友だちの視線が気になる・・・となるようです。

学校というのは、先生にしても友だちにしても、価値観も育ってきた環境も違う人が集まる場所です。

だから、気が合う人もいれば、気が合わない人もいます。

好きになれる人もいれば、どうしても好きになれない人もいます。

でも同じ橘高校の生徒になり、同じクラス、同じ部活、同じ委員会などになれば、好き嫌いに関係なく一緒に授業をしたり、話し合いをしたり、行事に取り組まなくてはいけない場面が出てきます。

ときには、一度も話をしたことが無い人、苦手だとか、怖いとか、好きじゃないな、いやだなと思う人と、二人一組にならないといけないこともあるでしょう。

そんなとき・・・

その人と一緒にやるのがいやだから、学校に来るのがいやだ・・・

あの人がいるから、クラスに行きたくない・・・と、時には泣きながら保健室に来る生徒もいるわけです。



それを聞いて、「それはかわいそうに！それはつらいね！！それじゃ、学校に来るのがいやになるのは当然だね！じゃあ、学校に来なくていいと思うよ！」と100%、その生徒の気持ちに共感することは簡単です。話をした生徒もきっと、すっきりするでしょう。

でも「それはつらいから、その人のことなんて無視すればいいよ！仲間はずれにしちゃえばいいよ！」とは100%言いません。

その理由は、わかりますよね？

もちろん嫌いだというには理由はあるかもしれませんが、仲間はずれにしたり、無視したりしていい理由にはなりません。（自分がいじめられていたり嫌がらせを受けている場合はもちろん別です）

でも「いじめ」の多くが、「なんとなく嫌い」とか「関わりたくない」とか「あの子は嫌われてもしかたがない子」という、勝手な周りの思い込みから始まっているのです。

この橘高校の生徒の中にも、自分ではなぜかわからないのに「嫌われて」、仲間はずれにされたり嫌がらせをされたり、周りから無視されたり、悪口を言われた経験のある人はいるのではないのでしょうか？でもそのときあなたが感じたつらさ、悲しみ、苦しさを、仲間はずれにした人、嫌がらせをした人、無視した人、悪口を言った人は、全然知らなかったかもしれません。

それは「軽い気持ちから」だったり「あの子が悪いから」と自分を正当化していることが多いからです。



でも世の中に、いじめられてもしかたがない人は一人もいません。

それはこの橘高校でも同じことです。

ただ、どうしても好きになれない人がいるのは仕方がないことだし、だれかを嫌いだと思うことも自由です。

でも、以前「ころべばいいのに」という絵本を紹介したときに書いたように、嫌いだと思うのは自由でも、それを行動に移すのはいじめにつながる危険性があるのです。

特に、SNS 上で名前を出さずに遠回りに悪口を言ったり批判したりすることは、よい結果につながることは少ないものです。



こんなことを書くと、いやな思いをしているのは自分なのに、なんで自分ばかり我慢しなくてはいけないのか！と思う人もいるかもしれません。でもこれは、「我慢すること」ではないし、なによりもあなた自身のためでもあります。

もし今自分の嫌いな人を完全に無視して、全く関わらないで済むようになったとしても、または橘高校をやめて違う学校に行ったとしても、この先社会に出れば、年齢も考え方も違う人たちと出会うことになりま。働けば、嫌いな先輩、嫌いな同僚、嫌いな後輩、苦手なお客様など、自分が嫌いな人と、関わらざるを得ないこともあります。

そのたびに「あの人を嫌いだから会社に行きたくない」「あの人がいるから会社をやめる」のでしょうか？

会社をやめたとしても、隣に住んでいる人が嫌いな人かもしれません。そのたびに引っ越すのでしょうか？ 残念ながら、この先ずっと、好きな人とだけ一緒にいられるか・・・といえば、それは無理なことです。

だからこそ、「もう我慢できないとっていろいろの人に相談したら、いい方向に進んだ」「相手は変わらなかったけど、先生や友達に助けられてなんとかやりすごせた」「友だちとトラブルになったけれど仲直りした」「仲良しにはならなくても、挨拶をしたり、近くの席になったりしても大丈夫になった」「あの子のことは嫌いだけど、距離をとってうまく付き合えるようになった」「相手は変わらないけど、自分が変わって、前よりも少し気にならなくなった」という経験。

しかも、本当にダメだと思った、もう無理だと思ったときには助けてくれる先生がいるところで、こういう経験しておくことは、あなたの人生にとってとても大きな財産になるのです。近すぎても疲れるし、離れすぎるといじめのように見えてしまう・・・。だからお互い無理なく一緒に過ごせる、そんな適度な人との距離のとり方を、ぜひこの橘高校で身につけてほしいと思います。

あなたがうまくなるようになるまで、保健室でも、いい方法を一緒に考えていけたらと思っています。

